

A：達成できた B：概ね達成できた C：やや達成できなかった D：達成できなかった

学校教育目標		重点目標(中期目標)	今年度の重点	総合評価
たくましく かしこい子どもの育成		深く考え取り組む子ども(知) ⇒ かんがえよう 思いやりのある子ども(徳) ⇒ つながろう 健康でがんばりのきく子ども(体) ⇒ やりぬこう	合言葉 「さあ、つながろう!」 互いに認め合える、 居心地のよい学校づくり	・児童理解、授業改善、生活の様子把握など意識して取り組むことで、A項目の評価が増えた。 ・員の共通理解や同じ理念のもとで教育活動をしているからこそ、児童たちは日々意欲的に授業に取り組むことができています。 ・配慮が必要な児童の居場所づくりはチームとして対応してきた。 ・配さる居場所づくりからどう学びにつなげていくか検討したい。 ・授業に、学校生活のユニバーサルデザイン化について、全校で取り組む内容を共有し、実践、検討できるようにしていきたい。

分野		評価項目	評価の観点	評価				最終評価
				A	B	C	D	
教育活動	学級経営	誰一人取り残すことのない、安心感のある学校づくりを目指して～「予測困難な時代」を、共にたくましく生き抜く子どもたちを育てるために～」	どの子に対しても個別最適な学びの方法と学びの場を考え、子どもたちの個性を最大限に引き出し、主体的な学びを支援することができたか。		○			・ひとりひとりが課題を把握し追究できるように、できるだけ多くの実験器具を用いるよう準備したり。しれど自分なりの結果を導き出せるようにした。 ・それぞれ生活を送り、自らは学習に向かっているよう、環境作りや支援をしてきた。また、配慮を要する児童については連携して支援をすることができた。
	教育課程	地域と連携した教育課程づくり	地域の素材・人材の参画を図った活動ができたか。			○		・保育園や高齢者施設、地域の歴史など川辺の町にある「材」がどんどん広まるといいなあと思う。
		chromebookやICT機器の活用	chromebookやICT機器を活用した授業づくりに取り組むことができたか。		○			・地域の方々から地域に出たり教室にお呼びする機会を設けたい。 ・個別学習に取り組んだ。タブレットで漢字や計算のアプリを使っていたので今後も続けていきたい。子ども達も意欲的に取り組んでいた。
	かんがえよう	最後まで話を聞く	発表者の考えをしっかりと聞き取るために、視線を向け、静かに聞くように指導や支援をすることができたか。		○			・学習のふり返りを終末場面に位置づけたことで、その時間に何を学んだのか子どもたちが自分の言葉で表現できるようになってきた。活動によっては、ふり返りの時間がとれない日でも表現できたり、支障がなかった。キーワードを示す、文章の書き始めを示す、選択式にする、また声に出してみよう、身体で表現するなどして、言語化・具現化しやすいようにした。
		自分の考えをもち、書く	わかったこと・気がついたこと・思ったことを書く時間を確保できたか。		○			・子ども達も意欲的に取り組んでいた。
		進んで伝え合う(発表・表現)	子どもたちが意見を出し合う時間を確保していたか。		○			・子ども達も意欲的に取り組んでいた。
		一人ひとりが追究し、学習したことをふり返る	一人ひとりが見通しを持って追究ができるように、ねらいを明確にした授業を心がけ、学習のふり返りを終末場面に位置づけることができたか。		○			・子ども達も意欲的に取り組んでいた。
	つながろう	心をこめた明るく元気なあいさつ	日常的な声がけや児童会活動により、あいさつのよさを自覚させながら、積極的にあいさつをしようとするよう働きかけたか。		○			・こちのから挨拶をするようにし、挨拶をしている子をほめるようにしてきた。普段から子ども達も挨拶が当たり前で、挨拶をしようとする意識がある、おきさんも多いので、挨拶した時の気持ちやされた時の気持ちを考えながら挨拶しようとする意識を高めようとした。
		ひびく歌声	全校音楽、学年音楽、音楽会で歌う時間を設け、子どもたちが共に声を合わせて歌うよさや楽しさを感じるようにしたか。		○			・毎日、朝の会に『おはよう』と言ったら、みんなが返事をしてくれてうれしかった」と話して、朝の会のお互いを思いやる気持ちが芽生えてきているなと感じた。引き続き、お互いを大切に過ごす時間を大切にしていきたい。
		相手の気持ちに近づいた考えや思いやりのある行動	自分や友達のよさを大切にするよう、日常の様々な事象をもとに、子どもたちに考え行動するよう働きかけたか。	○				・毎朝歌の時間をとり、歌に親しめるように意識した。 ・友達へのやさしい言葉がけや手を添える、手を貸すなどの温かい行為を取り上げ、皆に紹介するようになった。
	やりぬこう	外で元気に体を動かす	外へ出て元気に体を動かすよう、遊び時間や朝活動などで運動時間を確保しているか。	○				・体を動かすことが好きなクラスだったので、休み時間などはよく校庭や体育館で遊んでいた。クラスの仲間とよく、大きなトラブルなく過ごすことができた。
		食育を通して、給食をバランス良く味わって食べる	食育を通して、自校給食のよさや感謝を持ち、子どもたちがそれぞれの食べられる量の中でバランス良く味わって食べるよう工夫したか。		○			・全校体育では、友達や学年とのよい交流の場にもなっていた。お互いに刺激し合い運動に取り組むことができた。 ・運動会では、自分のめあて、学年や学級のめあてに向かって熱心に取り組んでいた。本気になつて競技する姿、真剣に応援する姿がみられた。
		規則正しい生活	教師も子どもも授業開始や授業の終了時刻などを守るようにしたか。	○				・全校体育に合わせた、各学級でも取り組む時間をもち共に体を動かしたり応援したりする喜びを感じることができた。 ・日々の生活の中でもタイマーを活用して、時間を意識して活動する機会を意識的につくった。
		共に鍛える	全校体育、運動会を通して、なかまとの共同の喜びや達成感を得させることができたか。(「自己評価カード」で振り返りを行う。)		○			
		基礎学力の定着	スモールステップ学習やドリル学習の継続など、基礎事項の定着を行っていたか。		○			
	生徒指導	安心・安全な学校生活	学校のきまりやマナーを守って生活するように働きかけたか。	○				・廊下歩行に関してまだ課題が残ると感じる。引き続き声掛けをしていきたい。 ・学校生活を全員がのびのびと過ごすために必要なルールやマナーを子ども達に伝えたり、考えさせたりしてきた。うまくいかない場合はなぜうまくいかないのか、困っていることはないかを子ども達になげかけ、どうすればできそうかを一緒に考えられた。
		心を込めた掃除	「もくもくタイム」を通して、心を込めた掃除を行い、学校や教室の環境整備ができたか。		○			・一生懸命掃除をする姿が見られたが、まだ話をしながら行っている様子も多くある。声を掛けていきたい。 ・前向きに清掃に取り組む子が多く、「綺麗になると嬉しい」と話す子もいた。引き続き、進んで周囲の環境を整えたり、活動したりすることを大切に指導していきたい。

									・縦割り清掃の取り組みは子どもたちにとって、とてもよい時間だった。縦割り清掃後は、おしゃべりが減ったように思う。今後も取組を検討していく。
学校運営	保護者との連携研修	家庭学習の充実	家庭学習の習慣化や学習内容の定着・意欲の向上を図る働きかけができたか。		○				・学校での様子を伝えたり、家庭での様子を聞いたりすることができた。 ・様々な背景を抱える子どもたちが多く、一人一人の話をじっくり聞くことを意識した。 ・ボランティア、保護者含め連携できるよう働きかけていきたい。 ・児童理解や非違行為防止に関わる研修から日々の児童との関わり方をふり返り、よりよい関係づくりに努めてきた。
		PTAやボランティアとの連携	学校はPTAやボランティアとの連携を行っているか。		○				
		児童理解・非違行為防止研修	児童理解・非違行為防止等の研修を行い、自己研鑽に努めたか。	○					